

製品名: CD24 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab08302**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用**希釈倍率** IHC 1:50-1:200, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:10000-1:20000**分子量****抗原情報**

遺伝子名	CD24 CD24A
別名	Signal transducer CD24 (Small cell lung carcinoma cluster 4 antigen; CD antigen CD24)
遺伝子 ID	100133941.0
SwissProt ID	P25063
免疫原	AA 範囲: 30-60 のヒトタンパク質からの合成ペプチド

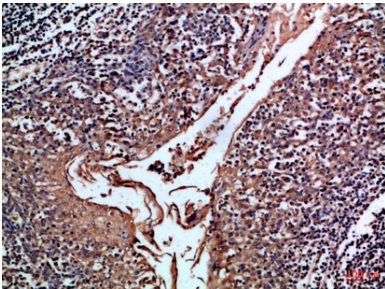
背景

この遺伝子は、成熟顆粒球および B 細胞に発現し、これらの細胞への増殖および分化シグナルを調節するシアロ糖タンパク質をコードしています。前駆体タンパク質は 32 アミノ酸からなる短い成熟ペプチドに切断され、グリコシルホスファチジルイノシトール

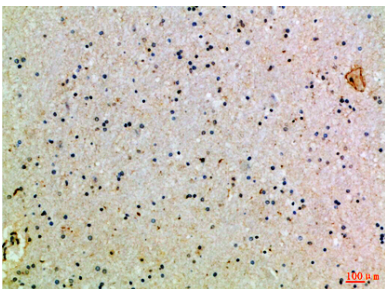
(GPI) 結合を介して細胞表面に固定されます。この遺伝子は以前のゲノムアセンブリでは欠落していましたが、6番染色体に正しく配置されています。転写されない偽遺伝子は、1番染色体、15番染色体、20番染色体、およびY染色体上に指定されています。選択的スプライシングにより、複数の転写バリエーションが生じます。[RefSeq 提供、2014年4月]、疾患：CD24の遺伝的変異は多発性硬化症感受性 (MS) に関連している [MIM:126200]。MSは、特に脳の脳室周囲領域における局所的な脱髄プラークの漸進的な蓄積を特徴とする神経変性疾患です。末梢神経は影響を受けません。通常、20代または30代で発症し、長期間にわたって断続的に進行します。原因はまだ不明です。機能：B細胞活性化応答を調節します。シグナル伝達は、レクチン様リガンドがCD24糖鎖に結合することで誘発され、GPIアンカー由来のセカンドメッセンジャーの放出によって伝達されます。B細胞のAG依存性増殖を促進し、抗体産生細胞への最終分化を阻害します。誘導：初代B細胞が抗体産生細胞への分化を誘導されると、発現は消失します。PTM：広範囲にO型グリコシル化されています。類似性：CD24ファミリーに属します。サブユニット：細胞タイプ特異的にLYNおよびFGRと相互作用します。小細胞癌細胞株ではFRGに、赤白血病細胞株 K562 およびパーキットリンパ腫ではLYNに結合する。組織特異性：B細胞。P32/SHやNawalwaを含む多くのB細胞株で発現する。赤白血病細胞株および小細胞肺癌細胞株で発現する。また、T細胞の表面にも発現する。

研究分野

画像データ



パラフィン包埋ヒト扁桃腺の免疫組織化学分析、抗体は1:100に希釈された



パラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学分析、抗体は1:100に希釈された